

## 社会福祉審議会 意見要旨

### 【人材育成・発掘】

(浅海委員)

専業主婦の方など芦屋市にも多くおられるが、その中でも専門的な知識を持っている方なども多く、社会に貢献したいや地域福祉に貢献したいと思っている人も多い。そういった方と協働し、コミュニティをつくれるような場づくりを考えていただきたい。

それが人材発掘や育成につながる。

(松木委員)

何かに取り組みたいと思っている人は多い。しかし、きっかけがないなどを理由に参加していない人が多く、どのように参加いただくのかを検討し、人材を集め、そして育成していくことが必要ではないか。

### 【集まる場所】

(松木委員)

空き家の活用などを通じて、居場所づくりができるのではないか。

(納谷委員)

地域に集まる場所がないという意見が多く、集会所は必要である。

(平野委員)

空き家の活用や多機能的なスペースについて、どこの自治体も模索しているように感じており、様々な機能を併せ持った、様々な財源を併せ持った拠点づくりや整備は、何らかの形で進めざるを得ない。

### 【ボランティア】

(納谷委員)

有償ボランティアといった考え方を導入していかないと、人が集まってこないのではないか。

(平野委員)

地域を活性化するための取組と組み合わせて実施することは一つの方法である。

### 【ネットワークづくり】

(納谷委員)

私の所属している自治会では、民生委員や福祉推進委員、老人会などの方々が参加し、協議しているが、ほかの自治会ではそうではないこともあり、各団体をまとめ上げていく地道な活動が大変重要でないか。